

玖珠警察署協議会

第4回会議の開催状況

第1 開催月日

令和6年3月12日（火）

第2 出席者

協議会 委員 5名
警察署 署長、副署長、総務会計課長、生活安全刑事課長、地域交通課長、警備課長 6名

第3 議事の概要

1 業務説明等

警察署から

- ・業務推進状況

について説明がなされた。

2 諮問事項説明

警察署から

- ・諮問事項（総合的な高齢者安全対策の推進）の取組状況

について説明がなされた。

3 諮問事項に対する答申

警察署協議会から、諮問事項に対し、下記の答申がなされた

- ア 地域食堂における活動は、協議会の提言を反映した効果的な取組であること
- イ 今後も、総合的な高齢者安全対策の継続を期待する

4 諮問事項に関する意見

(1) 特殊詐欺被害の掘り起こしについて

委員から「警察に被害申告せず、埋もれている特殊詐欺被害は、掘り起こせないのか」旨の質問がなされ、警察署から「余罪捜査等で、未届けの被害を把握することはあるが、家族に知られたくない等の理由で、被害申告を拒む被害者も多く、被害回復も容易でないことから、被害の掘り起こしよりも、未然防止に力を入れている」旨の説明がなされた。

(2) 高齢者の運転免許証返納について

委員から「運転免許証の返納について説明を受けたが、ケアマネージャーの間でも高齢者の運転は問題となっており、警察から返納を勧めてもらえることはありがたい」旨の意見がなされ、警察署から「運転免許証の返納を勧めることは、高齢者の交通事故防止に有効な取組であるため、運転を不安視する高齢者やその家族に対する丁寧な説明と真摯な対応を今後も継続していく」旨の説明がなされた。

5 その他意見

(1) 少年非行の現状について

委員から「玖珠郡の少年非行の件数は元々少ないが、県下でも少年非行は減っているのか」旨の質問がなされ、警察署から「スマホやSNSの普及により、少年同士が直接顔を合わせる必要がなくなり、昔のような少年が深夜に屋外でたむろするような非行は少なくなっている」旨の説明がなされた。

(2) 災害時における自衛隊との連携について

委員から「災害対策で消防等の関係機関との連携について説明を受けたが、玖珠駐屯地の自衛隊とは連携しているのか」旨の質問がなされ、警察署から「自衛隊の派遣は、知事の要請に基づくため、警察から直接出動要請することはないが、互いに災害現場の最前線で活動することから、円滑な連携は不可欠であり、日頃から情報交換等を積極的に行うことで、協力体制は構築されている」旨の説明がなされた。